

第18回五霞町青少年の主張大会

第18回五霞町青少年の主張大会が12月17日、中央公民館講堂において盛大に開催されました。

当日は、町長を始め町議会議員、教育委員、各小中学校PTA会長、社会教育委員、民生委員、青少年育成町民会議委員など多数の来賓や一般聴聞者が出席する中、各小中学校から選抜された10名の児童生徒が、日頃の考えや思い、また将来の夢などを力強く発表しました。

受賞者は次のとおりです。

○青少年育成五霞町民会議会長賞

五霞西小5年 篠崎 那月

○五霞町青少年相談員協議会長賞

五霞西小6年 須釜 涼

○優秀賞

五霞東小5年 隈元 由太

五霞中 1年 野村 翔琉

五霞中 1年 齋藤 哲也

五霞中 2年 宮内 くるみ

五霞中 3年 木村 芽来



五霞東小6年
中村明希子

いじめについて

軽い気持ちなんだろうなと思いました。

私が特に難しかったのは、いじめている人の考え・思いを書きとくところでした。私には、どうして人が嫌がることをするのか理解できません。

いよいよ話し合い当日になりました。私がなやんだ問題を、友達はどう考えているのかを知りたい機会です。

「どうしていじめが起きるのか。」という問題には、「ささいなことから始まると思う。」

「周りの環境が関係していると思う。」

「けんかが原因で起きていると思う。」

「元々仲が悪いから。」といった意見が出ました。私は、友達のを聞いて、「色々な原因があるんだな。」と思いました。

そして、「いじめとけんかのちがいは何だろう。」と話し合いは展開しました。友達の中から、「言い合っているうちがけんかか、暴力に変わるといじめ。」

んかのまま終われたらいいのになと思います。

でも、いじめられた経験のある友達はいじめられる方が1人で、いじめめる方が5、6人だと、最初は言い返すことができても、途中から言い返せなくなり、困っているうちにどんどんひどくなっていくんだと話してくれました。

言い返せない気が弱い人がいじめに合うという意見を出した友達もいました。

それを聞いて、私は、「嫌だ」と一言言うことも大変な友達がいることを知りました。

他にも、いじめをされたことはなくても、見たことがあつて止められなかったことを今もくやんでいる友達もいました。

話し合いをして、自分が軽い気持ちでからかっていた事も今思えばいじめだったのかなと気づいた友達もいました。

みんなで話し合う中で、一人が自分の立場で考えを深めていることがわかりました。

そして、話し合いの中で、「いじめは、絶対にやってはいけません。いじめは、いじめられている人だけでなく、いじめた人の人生もめちゃくちゃにしてしまいます。」先生がこうおっしゃいました。

自殺にまで発展してしまうことがあります。でも、いじめをしている人は、軽い気持ちで楽しんでいるのだから関係ないじゃないかと思っていました。でも、いじめた相手が傷をおったり、死んでしまったら、いじめた方は一生そのことを背負っていかなくてはならないのです。いじめている人の一生その後、めちゃくちゃになっていくことに気がつきました。

私は、これまでいじめについてあまり考えていなかったけど、この話し合いをしていじめについて考えを深めることができました。いじめはささいなことから始まるからささいなことにも気をつけなければいけません。

そして、私が考えたいいじめに対する結論は、次の3つです。1つ目は、からかいでも相手が嫌だと思ったらやめる。2つ目は、いじめを受けている人は、どんなささいなことでも誰かに相談する。3つ目は、いじめている人に「それは、いじめだ。」と教えてあげることが大切だということです。

そして、クラスで確認した、いじめを絶対しない、絶対死なないということをしつかり心に刻んでこれから生きていきたいと思います。

そして、私の周りから少しずつでもいじめをなくしていきたいです。



《受賞者名》 (敬称略)

○五霞町青少年問題協議会長賞

五霞東小6年 中村 明希子

○五霞町議会議長賞

五霞中 2年 徳田 美佳

○五霞町教育委員会教育長賞

五霞中 3年 須釜 千鶴